

1,000社以上が集積する横浜市随一の産業団地
「金沢臨海部産業団地」の新名称が決定！

『LINKAI横浜金沢』

～スタートアップイベントをパシフィコ横浜で2/9(金)11時より開催～



横浜市金沢団地(協)・(一社)横浜金沢産業連絡協議会・横浜市経済局・金沢区の共同主催で、2018年2月9日(金)11時より、パシフィコ横浜で開催される第39回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2018」の特設イベント会場にて、『LINKAI横浜金沢』のスタートアップイベントを行います。

『LINKAI横浜金沢』スタートアップイベントでは、FMヨコハマアナウンサーの鈴木まひるさんを司会に、『LINKAI横浜金沢』のプロモーションに関する発表の他、プロモーション動画の初公開、林琢己横浜市経済局長による『LINKAI横浜金沢』のネーミング原案提案者への表章式やあいさつ、「LINKAI横浜金沢のポテンシャル～つなぎ合い、えがくみらい～」をテーマに掲げるミニフォーラムを実施します。

「金沢臨海部産業団地」は横浜市の臨海南部に位置し、中小企業を中心に産業系の企業が1,000社以上集まる、横浜市随一の産業団地地区です。より付加価値の高い地域になるべく、平成28年度には「金沢臨海部産業活性化プラン」を策定、取組みのひとつとして、地域企業から提案があった170の名称案をもとに、地域のイベント会場や、横浜市のホームページで市民投票などを実施し、この度『LINKAI横浜金沢』の新名称を決定しました。魅力ある地域創生を目指し、地域の企業・大学・NPO等と行政の協働により、様々なプロモーションを積極的に行って参ります。是非ご注目ください。

ご多忙の折、誠に恐縮ですがご来臨賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

— 『LINKAI横浜金沢』スタートアップイベント 実施概要—

開催日時：2018年2月9日(金)11時～12時 ＊10:45開場

開催場所：パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C内 特設イベント会場

入場料：無料 ＊「テクニカルショウヨコハマ2018」入場ゲートよりお入りください

主催：横浜市金沢団地(協)・(一社)横浜金沢産業連絡協議会・横浜市経済局・金沢区

アクセス：みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩約3分、JR・市営地下鉄 桜木町駅 徒歩約12分

＊テクニカルショウヨコハマ2018公式サイトはこちら → <https://www.tech-yokohama.jp/>

■ 開催内容

- ・ 金沢区工業団体連絡会会長の挨拶：松村 洋一 氏
- ・ 『LINKAI横浜金沢』プレゼンテーション：鈴木まひる 氏 (司会)
- ・ 『LINKAI横浜金沢』名称提案者表彰（プレゼンター:横浜市経済局・林琢己局長）
- ・ ミニフォーラム「LINKAI横浜金沢のポテンシャル ～つなぎ合い、えがくみらい～」
- ・ フォトセッション～交流タイム

■ ミニフォーラム詳細

多様な主体の連携による取り組み紹介の他、地域活性化を目的とした産学連携による特定非営利活動法人（NPO）の設立構想などについてご紹介します。

[テーマ]：「LINKAI横浜金沢のポテンシャル ～つなぎ合い、えがくみらい～」

[モデレーター]

芦澤 美智子氏（あしざわ みちこ）

横浜市立大学 国際総合科学群 准教授。1996年より公認会計士として会計監査等に従事した後MBA取得。その後、産業再生機構等で企業経営経験を経て2013年に横浜市立大学に着任。大学着任後、産官学連携による体験型イベント「Aozora Factory」を企画立案し、実施における大学側の中心となっている。多様な経験を生かして横浜市の各種委員も務めている。

[パネラー]

西谷 寛臣氏（にしに ひろのり）

横浜市金沢団地(協)、有限会社双葉印刷所 代表取締役。1963年創業の双葉印刷所の代表に2018年1月に就任。一般総合印刷業の傍ら、使えなくなった紙を地域貢献に活かしたいと、長年にわたり幼稚園や保育園、養護施設に寄付するなどの地域貢献活動、横浜健康経営認証のクラスAA認定を受け、社員が健康に働ける環境整備に取り組んでおり、現在は、（公社）横浜南法人会青年部会副会長として、若手経営者の方々と「税」の教育活動を行っている。

児玉 聖司氏（こだま せいじ）

（一社）横浜金沢産業連絡協議会、玉家運輸倉庫株式会社 代表取締役。1969年生まれ 48歳。玉家運輸倉庫三代目社長。39歳で代表取締役就任。化学品の物流を得意とし、物流現場のロボット化とIT化を手がけている。金沢火災予防協会三代目会長として、地域の防火防災活動に従事。金沢区産業団地の経営者の会「横浜シーサイドフォーラム」副代表として若手経営者の仲間と地域の活性化に取り組んでいる。

本多 竜太氏（ほんだ りゅうた）

Aozora Factory運営委員会 共同代表、関東プリンテック株式会社 常務取締役。24歳で音楽業界に見切りをつけ関東プリンテック入社。発注や業者との交渉を一手に引き受け、工場長に。さらに社長に直談判し、30代前半で役員になった。産業団地の魅力と特色を活かしたワークショップを通じて「Made in 金沢区」の驚きと楽しさを提供する「Aozora Factory」の運営団体をNPO法人化すべく準備中。

緑川 賢司氏（みどりかわ けんじ）

NPO法人全日本製造業コマ大戦協会 名誉顧問、株式会社ミナロ 代表取締役。2002年にミナロを起業。2012年に「全日本製造業コマ大戦」を立ち上げ、現在までに全国150カ所以上で開催。参加チームは延べ3000チーム以上。2015年に「世界コマ大戦」を開催。7カ国から参戦するなど、世界を巻き込むプロジェクトに発展した。製造業ネットワークを元に中小企業の技術・製品を世界に向けて展開する事業を展開している。

中村 隆幸氏（なかむら たかゆき）

横浜市経済局 ものづくり支援課長。金沢区地域振興課地域力推進担当課長として、地域との協働により地域課題の解決に向けた取組を推進。2017年4月より経済局ものづくり支援課長として「企業集積を生かした、働く魅力がある、人が集まる産業団地」の実現に向けて、金沢臨海部ブランディング検討委員会とともに「金沢臨海部産業団地プロモーション事業」を担当している。

■ 新名称『LINKAI横浜金沢』決定までの経緯・名称にこめた想い

金沢地区の1,000社以上の企業にアンケートを行い、募集を実施し、約170の名称案が集まりました。この案を地域企業による「金沢臨海部ブランディング検討委員会」で議論し絞りこんだ11案を、「PIAフェスタ」・「Aozora Factory」会場や、横浜市のホームページで市民投票を実施。結果をもとに、地域企業などの代表会議「金沢臨海部名称決定会議」で決定しました。新名称には、多くの企業が集積する地域のつなぎ（LINK）あい（AI）を、町の未来につなげる（LINK）という想いがこめられています。ロゴは、臨海部の大きな空・海・緑といった自然と、多様な業種からなる地域の団結や結束を表しています。

■ 新名称『LINKAI横浜金沢』特設WEBページのご紹介

横浜市経済局の公式サイトに特設ページを設けています。是非閲覧下さい。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/seizou/kogyodantai/touhyou.htm>

